

桐生西ロータリークラブ週報

Rotary



2015-16年度RIテーマ

K. R. ラビンドランRI会長

Be a gift to the world 世界へのプレゼントになろう



例会日時 毎週金曜日 12:30～13:30
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp TEL 0277-22-9155
 URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi FAX 0277-44-2777
 会長 近藤幸利 幹事 小林恵司 クラブ会報・雑誌担当 霜村年勇
 広報活動委員長 高森 勉 委員 金子福松、小林聡(歴史編集・IT・CICO担当)、服部裕樹

No. 1995

2015年8月7日発行

第2117例会 (2015・7・31) 報告

- | | |
|-------------|--------------------------------|
| 1. 点 鐘 | 6. 食 事 |
| 2. ロータリーソング | 7. 委員会報告 |
| 3. 来訪者紹介 | 8. 卓 話 桐生商工会議所中小企業相談所 次長 神山健一様 |
| 4. 会長報告 | 9. 点 鐘 |
| 5. 幹事報告 | 10. ロータリーソング |

◆ビジター

桐生商工会議所中小企業相談所 次長 神山健一様
 桐生RC 前原 勝君

◆会長報告

近藤会長

1. 事前のお知らせでは、本日の卓話『桐生祭りの変遷』を、桐生商工会議所事務局長の阿部秀俊様に務めて頂くことになっておりましたが、阿部様のお義母様がお亡くなりになり、急遽、同会議所の桐生中小企業相談所の次長でいらっしゃる神山健一様が務めて下さる事になりました。

公私ともに大変な中、周到にご準備頂きましたお二方に、心よりお礼を申し上げます。

2. 7月28日付で、日本事務局より8月の特別月間の名称変更のご案内がメールで配信されました。8月の月間『会員増強・拡大月間』から、新しく『会員増強・新クラブ結成推進月間』に変わったそうです。

これは、今年1月のRI理事会で決定されていたのですが、RI本部担当部署からの連絡が28日迄なかった為、お知らせするのが大変遅くなってしまったとの事です。

◆幹事報告

小林(恵)幹事

◇8月のロータリーレートは現行同様1ドル124円です。
 ◇7月22日(水)の桐生タイムス紙に暑中見舞い広告が掲載されました。(各テーブルに配布)

◇ロータリーの友誌表紙写真(2016年1月・2月・3月・5月)の募集が届いています。(各テーブルに配布)

◇桐生市教育委員会より桐生市マーチングフェスティバル開催のご案内が届いております。

◇例会変更のお知らせ

桐生RC 8/24 前橋東RC 8/13 富岡RC 8/12(休)
 桐生赤城RC 8/11(休)、8/18 前橋中央RC 8/12(休)、8/26
 富岡中央RC 8/13(休) 富岡かぶらRC 8/4、8/11(休)、8/18

◇クラブ会報が到着しています

桐生RC 7/27 桐生赤城RC 7/21

◆食事メニュー

1275キロカロリー

みょうがとオクラ豆腐の小鉢、海老フライ、香の物、照り焼きチキン、白飯、ミネストローネ、フルーツ

◆委員会報告

□クラブ運営委員会

◇出席報告

七五三木出席担当

総数64名(免除者9名の内5名出席の為4名を除く)
 出席率対象者60名、出席率対象者出席人数48名
 欠席者12名(内前メイク3名) 出席率85.00%
 前々例会修正出席率91.80% (最終欠席者5名)

◇プログラム

正田プログラム担当

先週卓話にお越し頂きました松崎様が、各テーブルに配布して下さいました写真集『温故知新』の評判が大変良く、全て無くなってしまいました。それでクラブで取り寄せ、1部300円の実費で販売致します。ご希望の方はご購入下さい。

□拠金委員会

◇ニコニコBOX

河内拠金委員

神山健一様、卓話ありがとうございます
 近藤君、正田君、栗原(幸)君、栗原(秀)君、
 前原君、阿左美君、向田君、江原君
 桐生祭り今年も始まります。卓話楽しみにしています

羽鳥君、佐々木さん
 桐生RC前原さんメークによるこそ 花房君
 8月22日噂のあいつらがやってくる。Coming soon 青山君
 お店の展示がメーカーで表彰されました 山形君
 お迎えはどこから来るのと孫が聞く(川柳集より) 野村君
 長女の風邪が治りました 石戸君
 反省しています 須田君
 熱中症対策にはカフェインフリーでミネラル豊富な
 「麦茶」が良いです。麦酒じゃあないよ! 野田君

◇ロータリー財団

山形R財団担当

神山健一様、桐生祭りの卓話楽しみです
 正田君、栗原(幸)君、栗原(秀)君、石戸君、
 阿左美君、向田君、野田君、佐々木さん
 ムカデに刺されて足が腫れてしまいました 青山君
 明けても暮れてもエアコン修理です... 山形君
 毎日暑い日が続きます。何とかならないでしょうか 野村君

◇米山BOX

井本拠金委員

神山健一様、卓話よろしくお願ひします
 正田君、栗原(秀)君、石戸君、阿左美君、向田君
 桐生祭り今年も始まります。卓話楽しみです 佐々木さん
 新木さん、インターアクト年次大会ご苦労様でした 近藤君
 納涼家族会の出席宜しくお願ひします 青山君

エアコン工事でヘトヘトです
毎日暑いですね
グアムは日本より涼しいです
明日から8月1・2・3日大間々祭りです

山形君
栗原(幸)君
野村君
野田君

□奉仕プロジェクト委員会

◇インターアクト 松原 I A 担当

恒例の大間々高校模擬面接の講師9名の依頼が届いております。日時は8月25～27日の3日間で何れも午前中です。面接官役をお引き受けして頂ける方は、事務局迄申し出をお願い致します。

卓 話



桐生商工会議所
中小企業相談所 次長

神山 健一様

「桐生祭りの変遷」

桐生八木節まつりは、祇園祭と郷土民謡・八木節を中心とした、桐生市民総参加のまつりです。毎年8月の最初の金・土・日曜日に開催されます。(今年は8/7・8・9)桐生市で一番大きなまつりで、3日間の人出は47万5千人(平成26年)、桐生の目抜き通りは人でびっしりと埋め尽くされます。

この桐生八木節まつりは平成27年で第52回を迎えます。このまつりがどうして50年以上もの長い間続けられ、桐生市の人たちに愛されてきたのか。その半世紀を越えるまつりの歴史をたどってみます。

昭和30年代は桐生の街が大きく変わり、新しい息吹にあふれた時代でした。太平洋戦争から10年以上が経過し、地場産業である織物業が復興、機械金属工業が台頭し始め、桐生は産業都市としての歩みをあらためて踏み出しました。街なかにはノコギリ屋根工場が連なり、工場の煙突から吐き出される煙が街を覆い、街全体が工場のような桐生市でした。

桐生八木節まつりが始まる前は多くのまつりが異なる時期に行われていました。昭和29年から始まった桐生祭は11月の開催でした。桐生天満宮の臨時大祭・御開帳は春の商工祭と合わせて開かれました。春の商工祭は昭和27年から始まり、4月から5月のゴールデンウィークにかけて開催されました。八坂祭典・桐生祇園は7月の下旬の6日間という日程で実施されていました。七夕祭は昭和25年から始まり、仙台、平塚と並び称されたほどの豪華さでした。錦桜橋下流で行われた花火大会は昭和30年から始まりました。

その後、車社会の到来や生活様式の変化などで従来の形のまつりを継続していくのは難しくなり、新しいまつりの形を皆で検討し、市民にもアイデアを募り、その結果、まつりを統合することになり準備を始めました。ヒントになったのは、昭和30年に始まった「新潟まつり」だったといいます。そして昭和39年に多くのまつりを統合して桐生八木節まつりが誕生しました。

桐生八木節まつりの主な歩み

- 昭和 39年(第1回) 統一桐生まつりスタート
- 昭和 40年(第2回) 八木節歌詞を全国公募
- 昭和 43年(第5回) 新川球場で八木節競演大会始まる
- 昭和 44年(第6回) 八木節のPRに八木節列車が発車
- 昭和 53年(第15回) 七夕飾りの名称を商店街装飾まつりに変更
- 昭和 63年(第25回) 名称を「桐生八木節まつり」に変更
- 平成 元年(第26回) 本町四丁目祇園屋台が30年振りに復活

- 平成 2年(第27回) 子どもみこしパレード始まる
- 平成 5年(第30回) 開催日が金・土・日の週末開催に変更
- 平成 6年(第31回) 「八坂祭典」を「桐生祇園祭」に改称
- 平成 7年(第32回) 桐生祇園の四丁目鉦が104年振りに巡行
- 平成 9年(第34回) まゆ玉大会、DANCE YAGIBUSHI始まる
- 平成 12年(第37回) 祇園祭初の翁鉦と四丁目鉦との曳き違い
- 平成 13年(第38回) 二基の鉦と屋台三基(一、二、六丁目)揃う
- 平成 14年(第39回) ジャンボパレードのコース変更(有鄰館-錦町)
- 平成 15年(第40回) 本町四丁目屋台が100年振りに巡行
本町五丁目に大櫓「粹翔」を設置
- 平成 16年(第41回) 桐生祇園、みこし宵の出御が始まる
- 平成 17年(第42回) ダンス八木節新川公園に特設ステージ
- 平成 23年(第48回) 桐生市市制90周年、群馬DCで桐生祇園天王町二丁目屋台を展示
ポスターデザインを全国公募
- 平成 25年(第50回) 第50回を迎え、各イベントが特別事業、初期のポスターデザインを復刻

八木節音頭

昭和39年に始まった桐生まつりでは、八木節音頭が主役として位置づけられ、八木節の指導者育成や八木節踊り普及会などが桐生市内のあちこちで開かれました。統一まつりの成功には郷土民謡「八木節」が大きな役割を果たしたのです。現在もまつりの主役として、全日本八木節競演大会をメインに、本町通り、末広町通りには八木節やぐらが立ち並び、威勢の良い八木節音頭がまつりを盛り上げます。



桐生祇園祭

桐生では現在の本町三丁目に衆生院というお寺があり、ここに牛頭天王が祀られていました。明暦2(1656)年の祭礼記録が最も古く、これが桐生祇園の起源とされます。江戸時代末期には屋台の曳き違いなどが行われ、屋台では江戸芝居などを各町が夜通し上演、その華やかさから関東の三大夜祭りと言われました。桐生の祇園祭は織物業の繁栄や桐生新町の町衆文化を背景に独自の発展をみせ、屋台や鉦、祇園囃子や神輿、大幟にみられるように彫刻、絵画、書など素晴らしい祭礼芸術が創造されました。桐生祇園祭で最も重要な神事がみこし渡御です。御旅所に祀ってあるみこしを天王番町から出発、各町の世話方が町内を次々と渡していくまつりのメインイベントです。



《次例会予告》

8月22日(土) 納涼家族会
点鐘 PM6:00、会場 桐生プリオパレス

8月14日(金)は公式休会です